

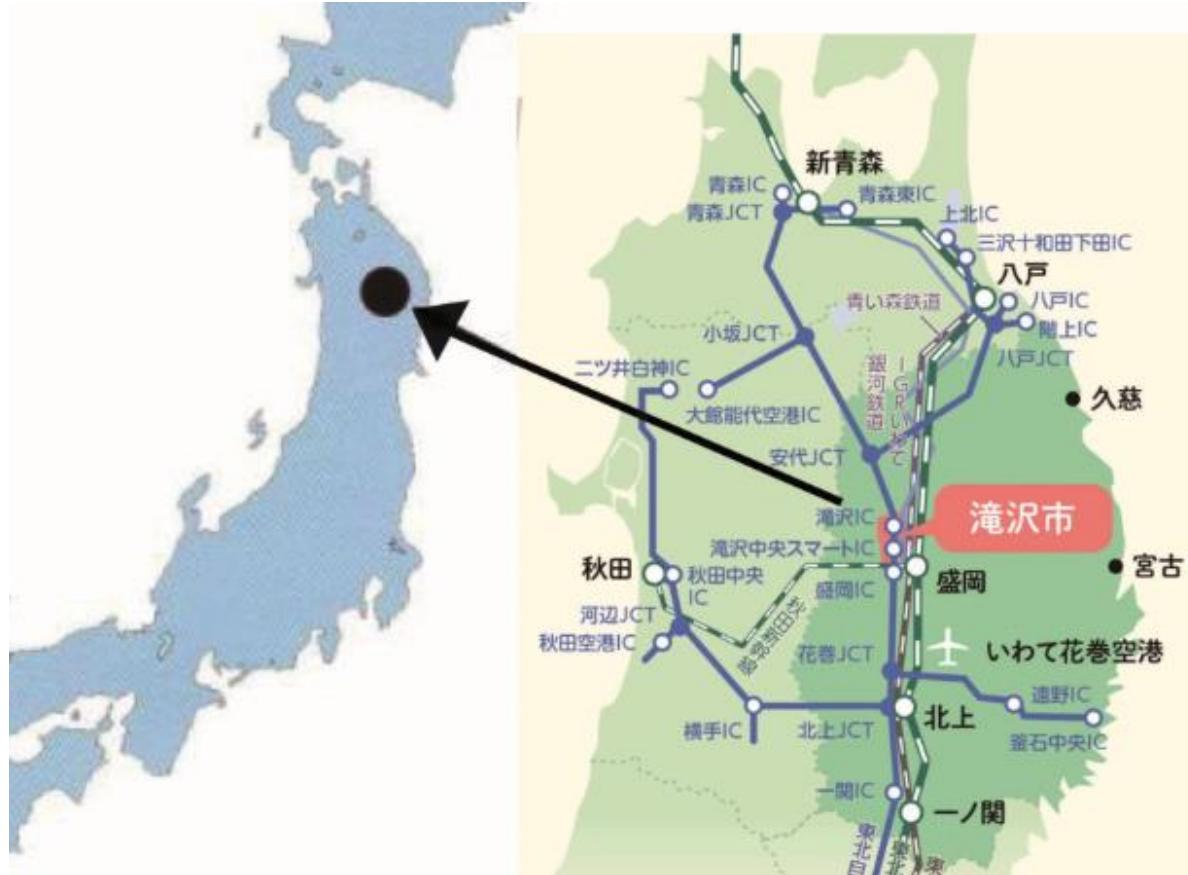
# 地域計画 ブラッシュアップ

岩手県滝沢市  
経済産業部農林課総括主査 海老澤 愛

# 説明内容

1. 滝沢市について
2. これまでの取組み
3. 取組みの支援体制
4. 地域計画実践の取組み
  - ①大釜地区
  - ②篠木地区
  - ③大沢地区
  - ④鶴飼地区
  - ⑤姥屋敷地区
5. 滝沢市のこれから

# 1. 滝沢市について

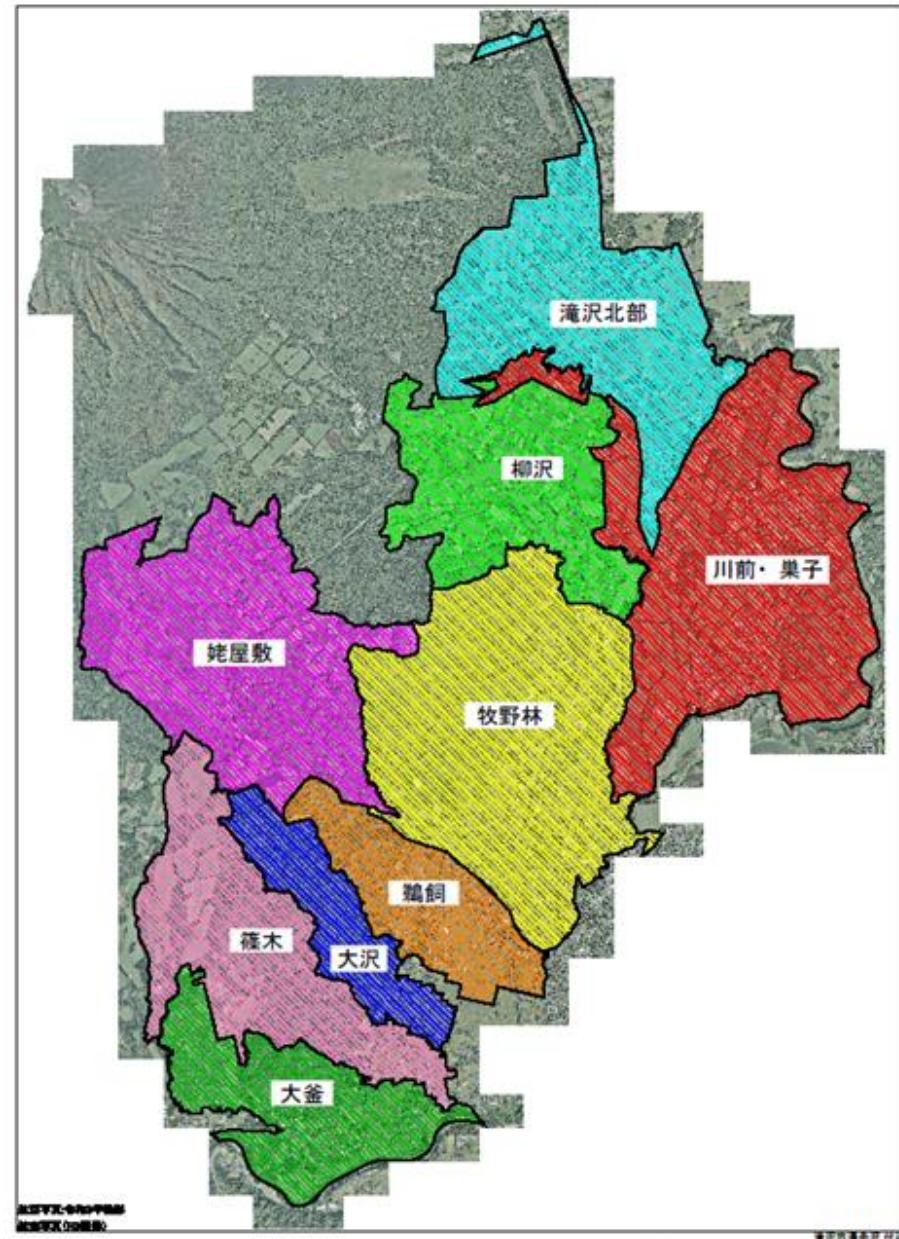


盛岡市の西側に位置する  
「とかいなか（都会+田舎）」なまち

- ◆ 人口 53,954人
- ◆ 世帯数 24,259世帯
- ◆ 面積 ※R7.10末時点
- ◆ 耕地面積 18,246ha
- ◆ 耕地面積 3,300ha

※総土地面積は2020年農林業センサス、  
耕地面積は令和6年面積調査

- ★集落営農組織が0ゼロ(R3年度まで)
- ★兼業農家が販売農家数の75%以上
- ★基盤整備は50年前にやったきり



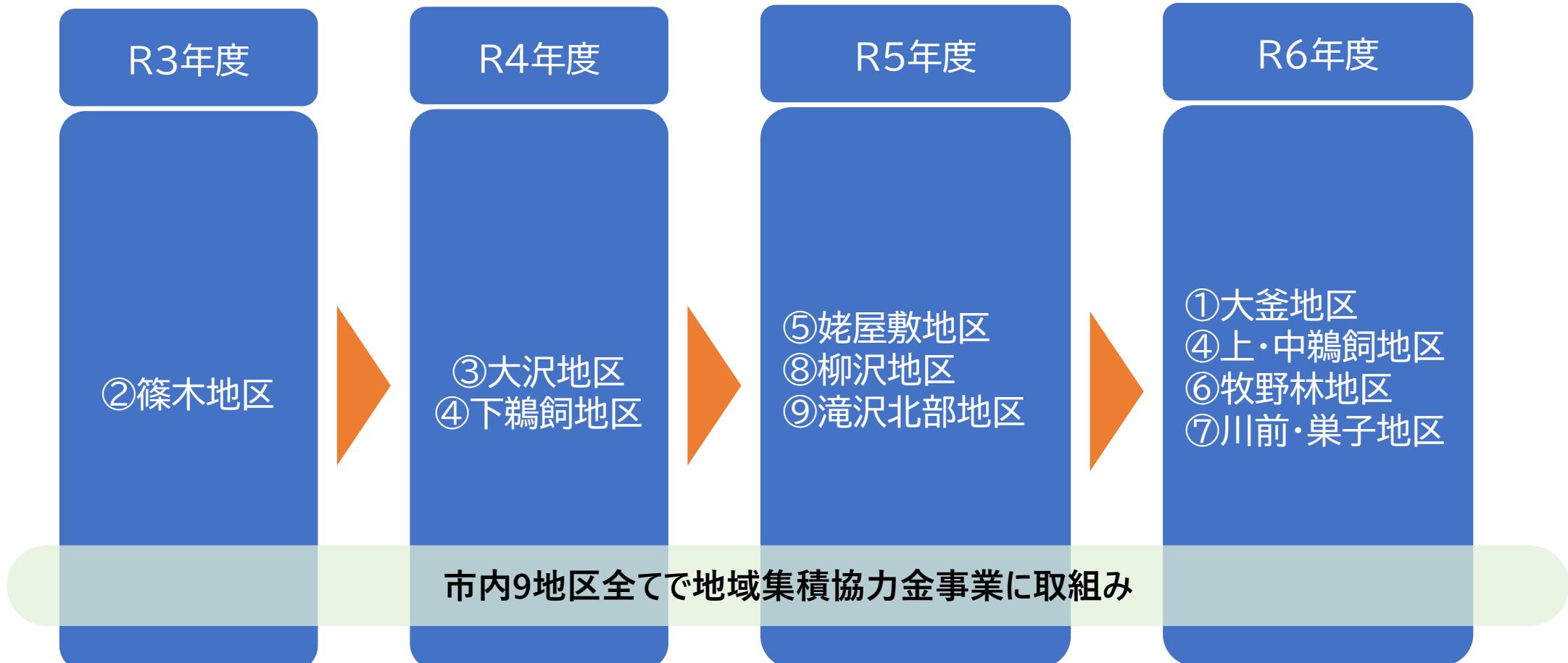
## 滝沢市地域計画 9地区

- ①大釜地区
- ②篠木地区
- ③大沢地区
- ④鶴飼地区
- ⑤姥屋敷地区
- ⑥牧野林地区
- ⑦川前・巣子地区
- ⑧柳沢地区
- ⑨滝沢北部地区

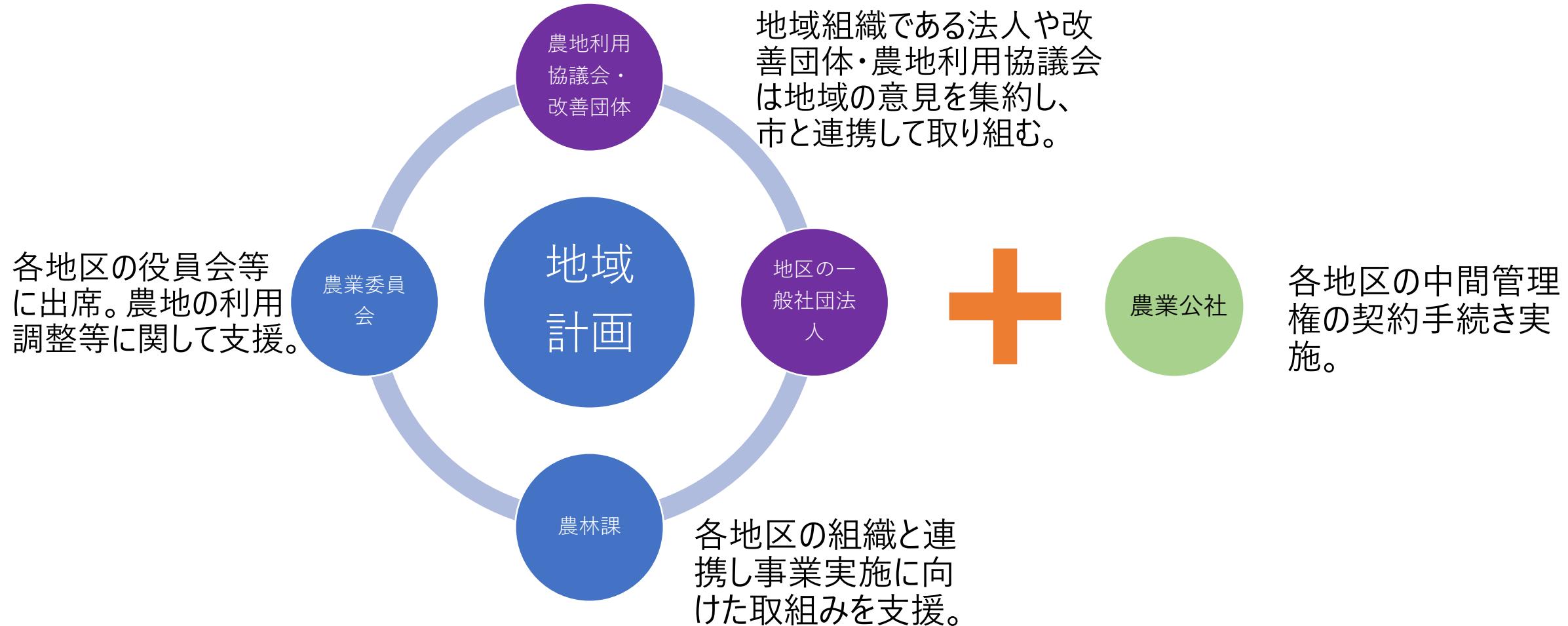
①～⑤地区を紹介！

## 2. これまでの取組み

中間管理事業の取組み ⇒ 地域計画策定へ



### 3. 取組みの支援体制



# 4. 地域計画実践の取組み

## 実践取組み計画表（一部抜粋）

No.	地域計画地区名	1 大善	2 御木	3 大沢	4 鶴洞
連携団体		・大善地区農用地利用改善団体 ・一般社団法人おおがま緑の会	(農家組合長、生産組織の 長、担い手)	・大沢地区農用地利用改善団体 ・一般社団法人アグリサポートおおさわ	・鶴洞地区農用地利用改善団体 ・一般社団法人うかい精ファーム
R7年度 地区目標		農地を守る仕組みの確立	①高齢農畜産業に向けた検討 ②ブロックローテーションの 検討	高齢農畜産業に向けた検討	①高齢農畜産業の検討 ②地域ぐるみでの育苗苗床設置 ③「農業生産技術の検討」技術会議開催 課題テーマに検討子作業
4月		4/8大善推進チーム(1)			4/16
5月	上	5/1大善推進チーム(2)	地域計画打合せ会開催案内 発送	①耕作者変更説明会開催案内発送	5/7鶴洞推進チーム(1) ①耕作者変更説明会開催案内発送
	中				
	下	5/29大善推進チーム(3)		5/30②耕作者変更説明会	5/30②耕作者変更説明会
6月	上	6/6大善推進チーム(4)	6/4地域計画打合せ会開催		
	中	6/11連絡会議		③6/10提出〆切	③6/10提出〆切
	下	6/23団体・おおがま緑の会総会	深澤農局農村整備室と打合せ	6/27団体・おおさわ総会 6/27大善推進チーム(総会終了後) 6/30公社契約会・合意解約も	6/24鶴洞推進チーム(2) 6/26団体・精ファーム総会 6/30公社契約会・合意解約も
7月	上	7/15大善推進チーム(5)	7/3法人向けシステム説明会		
	中	7/25ビッグループ滝沢小ホール	7/25ビッグループ滝沢小ホール	7/25ビッグループ滝沢小ホール	7/25
	下				
8月	上				

# ①大釜（おおがま）地区



	内容
策定前 (～R6)	<p><b>【R5年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域計画策定に向け市から働きかけ、4つの地域200haがまとまって地域集積協力金に取組むことに。</li><li>・しかし、「市がなぜそんなに進めようとするのか？」とメンバーに不信感をもたれ、事業は一旦保留...。</li><li>・めげずに4つの地域で改めて説明会を開催。参加者から「やっぱりやったほうがいい」の意見多数。</li></ul> <p><b>【R6年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・メンバーが再結集、改めて役員決めから始める。</li><li>・めでたく法人「一般社団法人おおがま結の会」が設立。</li><li>・地域集積協力金を得て地域の担い手として活動を開始！</li></ul>
R7実践目標	<p><b>実践目標：「農地を守るしくみの確立！」</b></p> <p><b>【R7年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法人が直営農地の作付け計画をたて行動。</li><li>・作業受託ができるメンバーの確保に向け声掛け。</li><li>・市も役員会にオブザーバーとして参加。</li></ul> <p>★農地利用最適化推進委員が法人の代表理事となり活躍中！</p>

## ②篠木（しのぎ）地区



	内容
<b>策定前 (~R6)</b>	<p><b>【R3年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市で初めての地域集積協力金事業に取組み。 市内各地域のお手本となる。70%を超える機構活用率も集約には手が付けられず…。 協力金の受け皿となった任意組織は解散。（今となってはもったいなかった）</li> </ul> <p><b>【R5年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の農業者数人で農事組合法人しのぎ協同舎が設立される。</li> </ul> <p><b>【R6年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農活性化プロジェクト促進事業により法人支援。</li> </ul>
<b>R7実践目標</b>	<p><b>実践目標：「①基盤整備事業に向けた検討、②ブロックローテーションの検討」</b></p> <p><b>【R7年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地集約に向け、農地集約システム「農地コネクト」の活用。</li> <li>・基盤整備事業（耕作条件改善事業）の活用に向け話し合い。</li> <li>・地域の課題ブロックローテーションについても。</li> </ul> <p>★しのぎ協同舎は農業委員が代表理事、OBが理事となり活躍中！</p>



# ③大沢（おおさわ）地区



	内容
<b>策定前 (～R6)</b>	<p><b>【R3年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お隣の篠木地区に倣い、地域集積協力金事業に取組むことを決定。</li> </ul> <p><b>【R4年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域まるっと中間管理方式」一般社団法人アグリサポートおおさ輪が設立。</li> <li>・デジタル田園都市国家構想推進交付金事業で地域の受託組織となるしくみも構築。</li> </ul> <p><b>【R6年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農活性化プロジェクト促進事業により法人支援。</li> </ul>
<b>R7実践目標</b>	<p><b>実践目標：「基盤整備事業に向けた検討」</b></p> <p><b>【R7年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な農作業ができるよう基盤整備を進める。</li> <li>・法人が中心となり資源保全組合なども参画。</li> <li>・今後地域説明会を開催予定。</li> </ul> <p>★農業委員が法人の代表理事、最適化推進委員やOBが理事となり活躍中！</p>



# ④鶴飼（うかい）地区

岩手山

市役所

►盛岡市



	内容
策定前 (~R6)	<p><b>【R3年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鵜飼地区は人・農地プランの時、「上・中鵜飼」、「下鵜飼」で構成されていた。</li> <li>・「下鵜飼」が大沢地区と同じタイミングで地域集積協力金事業に取組むことを決定。</li> </ul> <p><b>【R4年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域まるっと中間管理方式」一般社団法人うかい結ファームが設立。</li> <li>・デジタル田園都市国家構想推進交付金事業で地域の受託組織となるしくみも構築。</li> </ul> <p><b>【R6年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「上・中鵜飼」が地域集積協力金事業に取組むことを決定。うかい結ファームから協力を得て実施。</li> <li>・地域計画では、「上・中鵜飼」と「下鵜飼」がひとつになり「鵜飼地区」として策定。</li> </ul>
R7実践目標	<p><b>実践目標：「①基盤整備事業の検討、②地域ぐるみでの有害鳥獣対策」</b></p> <p><b>【R7年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山際に位置する「上・中鵜飼」エリアは有害鳥獣対策が喫緊の課題。</li> <li>・平場に位置する「下鵜飼」エリアは基盤整備の検討が課題。</li> <li>・基盤整備事業に向けては地域説明会を開催予定。</li> </ul> <p>★農業委員が法人理事、推進委員が改善団体役員として活躍中！</p> 



## ⑤姥屋敷（うばやしき）地区

	内容
<b>策定前 (~R6)</b>	<p><b>【R5年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は事業に手挙げをする気はなかったものの市からお勧めしたところ実施を決定。</li> <li>・機構活用率は市内ダントツの90%超。</li> <li>・酪農地帯で面積も広く、担い手への集積率は86.7%と市内1位。</li> </ul>
<b>R7実践目標</b>	<p><b>実践目標：「グリーン・ツーリズムの取組推進」</b></p> <p><b>【R7年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の担い手を育てる必要性を重視。</li> <li>・地域ぐるみで小・中・高校生向けの農業体験を模索。</li> </ul> <p>★最適化推進委員が協議会役員として活躍中！</p>



# 5. 滝沢市のこれから

## 地域をつなぐ取組み

### ◆滝沢市農地を守る法人等連絡会議

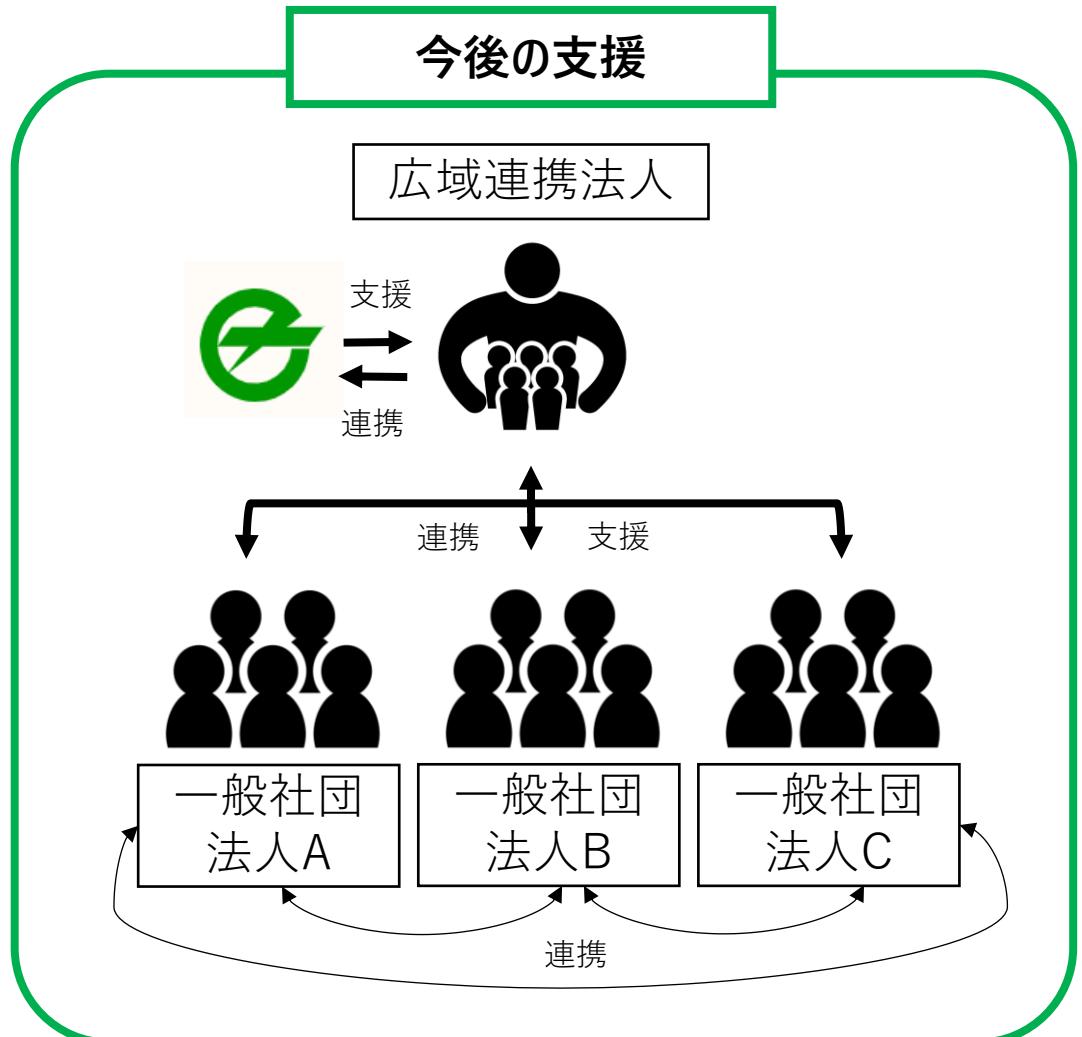
6/11 市内9地区の組織役員等32名参加

グループごとに「滝沢市が農業産出額1位になるためには?!」  
をテーマにアイディアを出し合い、妄想優勝インタビュー

11/28 法人運営・有害鳥獣対策の先進地視察開催

12/3 基盤整備事業先進地視察開催





地域をつなぐ新たなしきみ設立  
地域を越えた助け合いへ！

ご清聴ありがとうございました